

平成28年度 ケアガーデン新幸（小規模多機能居宅介護）運営推進会議を活用したサービス評価 総括表

法人名	社会福祉法人 見附福祉会	代表者	斎藤 博道	法人・ 事業所 の特徴	施設周囲に園芸畑を配し、四季の彩を楽しんでいただくとともに、園芸作業を通じて心身機能の維持・改善効果を期待しています。また、園芸畑の運営には施設の方々ばかりでなく、地域の方々にもご支援いただきながら運営していけることを願っています。また、施設の中央部には「ベジタブルカフェ」と称したキッチン付きの開放空間を備えています。収穫された野菜を一緒に楽しみながら交流の空間として活用していきたいと考えています。
事業所名	ケアガーデン新幸	管理者	西山 大介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	2人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	昨年度、問題ないとのこと意見いただき継続して取り組みました。	問題ないとのこと意見いただきました。	ミーティングでは2/3以上の参加は確認できたが、できれば全員の参加ができれば望ましい。	全体の自己評価のミーティングは1回ではなく、数回開催し、職員全員がミーティングに参加する。
B. 事業所のしつらえ・環境	昨年度、問題ないとのこと意見いただき継続して取り組みました。	問題ないとのこと意見いただきました。	問題ないとのこと意見いただきました。	継続して取り組みます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域での行事に参加できるようにスケジュール調整を図っていく。	昨年度より引き続き、クリーン作戦や、祭り、民謡流しに参加し、より事業所に近い地域コミュニティ開催の行事に参加できた。	来年度も地域コミュニティとして、開催内容の提供等、連携して協力できたらと思います。(コミュニティ代表)事業所の担当する地域がわからなかった。	地域コミュニティとの連携をはかりながら、調整をはかり、より地域での行事等に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	C同様	C同様		C同様
E. 運営推進会議を活かした取組み	行事参加やその他の報告についても簡易報告のみだったので、写真や計画書の提示をする。	昨年度に比べ、取組みについて説明しやすくご理解いただけた。	年に一度の説明では不足する部分がある。	継続して取組み、来年度の運営推進会議ではより理解しやすい、手法で取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	E同様	E同様	緊急性など写真や計画書では伝わらない部分も多い。	防災訓練等での実際の見学や参加を検討する。